アポイ岳ジオパーク 地球の物語 ～さまに町～

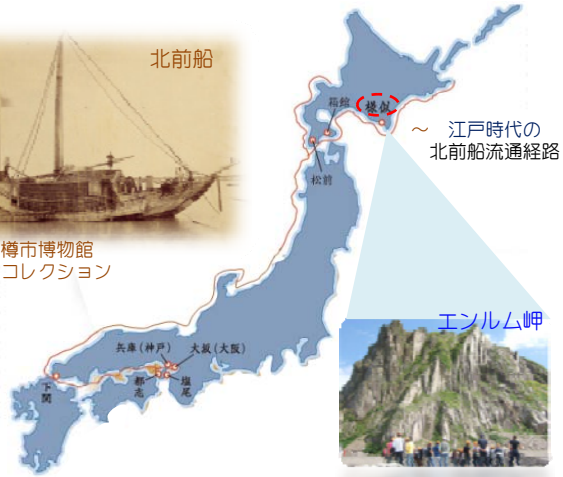
室蘭開発建設部
平成24年12月

様似町には、世界でも類を見ない多彩で新鮮なかんらん岩から成るアポイ岳や渓谷、特殊な土壌条件などによって育まれた固有の高山植物群落、そして、海岸の特殊な地形が天然の良港となり古くから交易の拠点として栄えてきた歴史と文化があります。

◆アポイ岳ジオパークとは◆

ジオパークとは、地質学的に貴重な場所で、地球から始まる植物や歴史の物語を楽しむ「大地の公園」のことです。その貴重な場所を保全し、教育、研究、地域振興に活用していくことを目的としています。

アポイ岳を含む様似町全域は、貴重な自然が評価され、2008年に日本ジオパークに認定されました。



アポイ岳でしか見られない花々！

アポイ岳には、80種類の高山植物、20種類のここでしか見られない花、固有種が咲いています。海霧や少雪、植物が育ちにくいかんらん岩土壌という厳しい条件が、多くの固有種を育む環境を生み出したと考えられています。

アポイ登山には、5月がお勧め！花が一番多く咲いています。

◆アポイ岳の開花状況は、
アポイ岳ファンクラブHPをどうぞ。
http://apoifan.mt-hidaka.jp/

世界が注目！ かんらん岩

かんらん岩は地球の深いところにあるマントルをつくっている岩石で、地上ではあまり目にすることができません。このかんらん岩が地上にあらわれてできたのが、アポイ岳。

地表にいながら、地球内部をのぞくことができる場所なのです！

◆アポイ岳ジオパークのHP
かんらん岩は、様似町役場前の「かんらん岩広場」で見学できます。
http://www.apoi-geopark.jp/

海からひらけた町「さまに」

様似町では、「太平洋に浮かぶ奇岩」の風光明媚な景観が楽しめます。親子岩、ソビラ岩、エンルム岬など数々の奇岩を見ることができます。

海に突き出したエンルム岬の地形は、風向きにかかわらず船を泊めることができる、まさに天然の港。江戸時代、東蝦夷地における北前船流通の要衝でした。

◆様似の歴史のパンフレット
http://www.apoi-geopark.jp/file/index.html

アポイ岳ジオパーク

～かんらん岩の使われ方～

室蘭開発建設部
平成24年12月

アポイ岳をつくるかんらん岩。かんらん岩ならではの特性を活かし、建築用資材や肥料のほか、高炉用添加材としての使用が注目されています。採石場からは国道、浦河港や様似港を経由して各地へ移出されています。

◆かんらん岩の性質・特徴◆

- 地上で見られる鉱物の中で最も重い。（比重3.3g/cm3）
- マグネシウムを多く含む。
- 硬く、火に強い。
- きれいなオリーブ色。

◆こんなところに使われてます◆

■鉄をつくる時の添加材

鉄鉱石に含まれる不純物を取り除くために、不純物の動きをよくする効果があります。鉄を溶かす時に炉を守る効果があります。

■肥料用原料

かんらん岩に含まれているマグネシウムは、光合成を促す効果があります。水稲の肥料散布時に重りとしての効果があり、効率よく肥料が散布できます。

■鋳物砂

急激な膨張収縮を伴わず、素早く冷却するため、寸法精度の高い、表面組織が緻密な、きれいな鋳物※ができます。

※鋳物…加熱して溶かした金属を型に流し込み、冷え固まったものを取り出した金属製品

■その他

重いことから、防波堤や消波ブロックなどのコンクリート骨材に使用されています。その色彩を活かし、花器などにも使われています。

◆かんらん岩の行方◆国道（336号・235号）～浦河港から本州へ

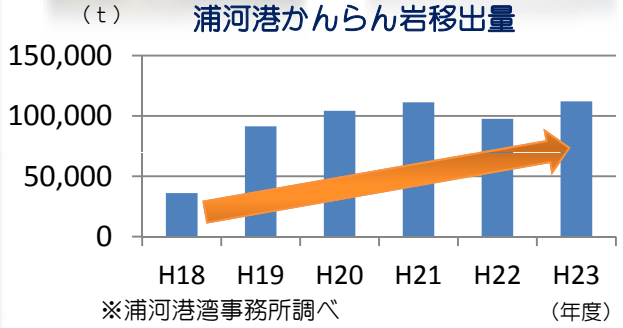
浦河港を中心に、様似港などからも移出されています。

国道整備、岸壁整備や防波堤整備は、かんらん岩の移送に大きく役立っています。

国道336号線整備（様似町）

-7.5m築地岸壁整備（浦河港）

西島防波堤整備（浦河港）



浦河港は岸壁水深が確保されているため、大量の輸送に適しています。国内産のかんらん岩の多くが浦河港から全国へ運ばれています。